



でん太の 教えてドクター

その⑯ この方法・時間・費用で治療を始めるか
あなたが決めてください



お話／足立優歯科診療所 足立 優 院長

でん太 ドクター、このシリ
ーズも17回めになつたけれど、
ちつとも治療が始まらないね。
D.r. そうだね（笑）。今ま
では、歯医者さんに行つたら
すぐに始まつたの？

でん太 うん、行つたらすぐ
に治療が始まつて、今日は何
円です、次は何日に来てくだ
さい、って言われて、せつせ
と通つたよ。

D.r. その治療がどんな内容
で、全部でいくらかかつて、
いつ終わるのか全然わからな
かったわけだね。ぼくの診療
所では、そういう細かい治療
スケジュールを、すべて最初
にお話しして、患者さんがそ
の計画で治療を進めても良いと
判断したら、ようやく治療を
始めているんだよ。

でん太 でも専門的なことを
言わても、よくわからないよ。
D.r. ぼくの診療所では、わ
かりやすい計画表を作つて、
患者さんに見せているんだ。
でん太 が希望する一生自分の
歯で食べていくための「予防
管理中心型の治療」を進める
にあたつて、それぞれのお口
の中に合つたオリジナルの治

療計画をたてる。するとでき
あがるのが、図のような3つ
の資料だ。まず図①は、治療
内容を書いた「予防治療計
画」。使いやすく、見た目も
良く、掃除もしやすいお口の
中にするために、どんな治療
をすれば良いのかが書いてあ
る。図②は治療にどのくらい
時間がかかるかを書いたもの。
この計画表と、患者さんの都
合に合わせて診療所に来ても
らう。そして図③は、どのく
らい費用がかかるかを書いて
いるんだ。これらは資料を見
せて、患者さんが納得し「こ
れでお願いします」という返
答があつたら、初めて治療が
始まるわけだ。

でん太 なるほど。ドクター
にまかせて治療を始めるかど
うかは、ぼくたちが決めて良
いんだね。

D.r. そう、患者さんが自己
決定をする。このことを「イ
ンフォームドコンセント」と
いう。前にもお話ししたよね。
このことは、医療者が守らな
ければならない「患者の権利
を守る」ということのひとつ

ドクターの診療所で作っている3種類の計画表

●第●代・様			治療費用見積書	2023年(令和5年)
B案			担当医: 記念 医	備考
名 称	目 的	内 容	費 用	
当院 プラズマ	脳血管の閉塞による頭痛の解消	・頭部血管の治療 ・頭部血管の抑制 ・血栓溶解剤 ・抗凝固剤 ・頭痛薬、頭面接種	¥140,000	
手術 治療調整	喉の狭窄が進行することにより おもむねの呼吸困難が発生	・手術の調整性 ・スリットトト	¥60,000	
基盤治療	既往歴: 既往歴なし(既往症) 既往歴: 既往歴なし(既往症) 既往歴: 既往歴なし(既往症)	既往歴に基づく治療 既往歴に基づく治療 既往歴に基づく治療	¥505,000	既往歴に基づく 治療費用が必要な場合
相應治療	既往歴: 既往歴なし(既往症) 既往歴: 既往歴なし(既往症)	・アブリブ ・異常なうつ入院 ・精神的回復	¥1,700,000	
定期検査	既往歴: 既往歴なし(既往症)	・内視鏡 ・胃鏡カウンセリング	¥20,000	
精神管理	既往歴: 既往歴なし(既往症)	・エムジア ・シーフラック ・心肺内視鏡 ・心電図検査 ・心電図検査	¥2425000 ¥663,000 ¥156,000 合 计	¥3,276,000
その他	ホリバニンガ			

X 3

治療 Time-Chart			
●計代 種	治療部位	治療次第	年月 日
N-1	前歯部	1回目	2022/3/11
N-2	前歯部	2回目	
2-2 8時	前歯部	3回目	
N-3	前歯部	4回目	
N-4	前歯部	5回目	
N-5 18時	前歯部	6回目	
N-6	前歯部	7回目	
2-3 13時 45分 2022/3/12 13時 45分 2022/3/12	前歯部後方 前歯部側面	8回目	
N-7 18時 2022/3/12 20時	前歯部	9回目	
N-8 2	前歯部	10回目	
2-4 13時 45分 2022/3/13 20時	前歯部	11回目	
2-5 2	前歯部	12回目	
N-9 20時 2022/3/13 20時	前歯部	13回目	
N-10 3	前歯部	14回目	
2-6 3	前歯部後方 前歯部側面	15回目	
N-11 4	前歯部後方 前歯部側面	16回目	
2-7 4	前歯部	17回目	
N-12 5	前歯部後方 前歯部側面	18回目	
N-13 6	前歯部後方 前歯部側面	19回目	
2-8 6	前歯部	20回目	
N-14 7	前歯部後方 前歯部側面	21回目	
N-15 8	前歯部後方 前歯部側面	22回目	
N-16 9	前歯部後方 前歯部側面	23回目	
N-17 10	前歯部後方 前歯部側面	24回目	

图 2

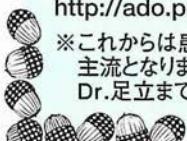


图 1

足立 優歯科診療所

神戸市東灘区岡本1・3・33
TEL 078・411・0024 FAX 078・411・0056
mail.adachi@kba.att.ne.jp
<http://ado.pr-business.net>

※これからは患者の権利を守る予防歯科医療が主流となります。情報をお知りになりたい方は、Dr.足立までお問い合わせ下さい。



●明日の歯科医療を創る会
ホームページ

ホーリーページ

赤川フジノ

行動医学の概念を基盤とした自己決定に基づく予防管理中心型の歯科医療を開拓する。また、この概念にもとづく医療システムの普及のために「NPO法人・明日の歯科医療を創る会 P.O.S」を設立し、社会に対して歯科医療情報の公開と、よりよい歯科医療を求める患者の支援を行なっている。

足立 優(あだち まさる) 1960年生まれ。大阪歯科大学卒。1988年米国留学後、神戸市東灘区に足立 優歯科診療所開設。

自然の食彩とお酒 「盛段」

三宮本通りわきの筋を南へ。
階段を上ると、木製のカウンター、テーブルがシックな

お食事処「盛段」。店を出す前から食べ歩きが好きだったというご主人・春名勉さんと奥さんの2人が店を切り盛りしている。

ご主人のこだわりは「食材からだしに至るまで、すべて自然のものを使うこと」。化学調味料やだしの素なども一切使わず、かつお、昆布、しいたけ、鶏がらなどを使い、冬場は奥深い味のおでん、おでんが終了する5月以降は、天ぷらや豆腐料理。豆腐は本当にがりを使い、冷やっこ、豆腐サラダ、梅ダレと梅ソースでさっぱり食べる梅やっこなどがおすすめ。明石タコや本マ

焼酎（400円）、日本酒など。料理に合うおすすめを聞いてみるのもいいかも。



カフェ&バー「スカラ」

ランチ（700円）も大人気だ。ランチは14時半まで。

■盛段

TEL078-322-0175
神戸市中央区三宮町2-8-6-2F
昼の部 11:30~14:30
夜の部 18:00~22:00
日曜定休



ご主人・春名勉さん



おでん盛り合わせ

17年前からこの場所でブティックをしていたマスターが、手作りのカフェ&バーをオープンして4年。このマスターは2階の「盛段」のご主人の弟さんです。カウンターやイス、テーブル、食器棚はすべてマスターの手作り！壁の絵画や



グロなど新鮮な魚介メニューも最高。テーブルのしようゆは「生醤油」。これは新鮮な魚の持ち味を引き出すためだと。

お酒は麦、芋、黒糖などの

魚の持ち味を引き出すためだと。



コンフェイトフエスタ ☆北野



クリスタルカラーのこんべいとうを好きなだけつめて、プレゼントにも最適

北野にできたコンペイトウ専門店。見てるだけでかわいい！色とりどりのコンペイトウは、ピーチ・ストロベリー・レモン・パイン・ソーダ・オレンジ・メロン・ぶどうと、味も豊富に。梅・しょうが・ニッキなどの和風味や、大納言のコンペイトウなどもある。量り売りは10g 50円(40g)。コンペイトウ入りハート型クッキー、星型キャンディ(各250円)や、コンペイトウ型のとんぼ



■CONFEITO FESTA

TEL078-261-2799
神戸市中央区山本通2-14-26
10:00~18:00
(北野坂サーティーワンアイスクリームを西へ)

感あふれる店内は親しみやすくてまた来たくなる。ブレンドコーヒー(500円)、日替りのシフォンケーキと自家製ケーキから選ぶケイセット(800円)などの人気のマレーシアカレー、パエリアコミートスペゲティ、和風きのこガーリックスペゲティ(各700円)。ボリュームたっぷりの日替りサービス



■Cafe Scala

TEL078-322-2993 神戸市中央区三宮町2-8-6
11:30~21:00 無休(ランチ 11:30~14:30)

ジャズバー、プラスバンド、のど自慢、ダンス、こどもパフォーマンス「新開地こどもマツケンサンバ隊」と、新開地ならではのごちゃまぜのイベント。5・7~8は「新開地音楽祭」。7日には木村充輝、8日には古谷充・YOSHIKAのジャズコラボレーションステージが。同じ日にKAVCホールで第6回「神戸ジャズウォーカルクイーンコンテスト」開催。期間中KAVCでは「JAZZ BAR STYLE」と題し、こだわりの選曲と熱いウンチクをご紹介。



新開地ミュージックストリート2005

神戸アートビレッジセンター(KAVC)とその周辺の野外
4/29(祝金)~5/8(日)
10:00~19:00
入場無料(ジャズウォーカルクイーンコンテストのみ当日券3000円)
■問☎078-512-5500 (KAVC)
☎078-322-6495
(神戸市生活文化観光局)
<http://www.shinkaiichi.or.jp/>

国連発足50周年にあたる1995年に「ファッショントークン」を通じて文化的多様性を認め合い、地球市民としての意識を掲げたいというビジョンから誕生したプロジェクト・デザイン21。国際デザインコンペティションとして、世界中の若いクリエイターやアーティストたちが参加してきた。文化や国境を越え、若い才能がつむぎ出した作品の中から、これまでのコンペ入賞作品を一堂に展示。独自の文化、歴史から生れた「ファッショントークン」作品は、果たして共通言語として拡がってきたのだろうか。



デザイン21 ファッションの未来

神戸ファッション美術館
(JR住吉駅より六甲ライナー)
第1期 開催中~5/10(火)
第2期 5/21(土)~7/5(火)
10:00~18:00 水曜休館
一般500円 小中高シニア250円
■問☎078-858-0050
(神戸ファッション美術館)
<http://www.fashionmuseum.or.jp>

精巧なからくりおもちゃやドイツのおもちゃなどを集め、大人も子どもも楽しめる有馬玩具博物館。今回の企画展ではポルシェ356スピードスター、メルセデスベンツ300SL、ブガッディなど、歴代の名車をミニカーと実車の写真で振り返る。1905年、有馬で日本初のバス会社・有馬自働車が設立されてから100周年を記念し、博物館では通常一般料金の50%OFFキャンペーンを今年1年開催している。車好きのお父さんも子どもさんを連れてどうぞ。



有馬自働車100周年記念 ミニカーで振り返る「名車100選」

有馬玩具博物館(神鉄有馬温泉駅下車)
4/20(水)~7/11(月)
9:30~18:00 第2・3火曜休館
入館一般500円(通常1000円) 小人500円
■問☎078-903-6971
(有馬玩具博物館)
<http://www.arima-toys.jp>



安井伸治〈蝶(二)〉1934年 個人蔵

兵庫県立美術館コレクション展 安井伸治

—僕はこんな美しいものを見た—
兵庫県立美術館(阪神岩屋駅下車)
開催中~7/3(日)
10:00~18:00 月曜休館
一般500円 大高生400円 中小生200円
(特別展とのセット料金あり)
■問☎078-262-0901(兵庫県立美術館)
<http://www.artm.pref.hyogo.jp>

ライブハウススケジュール

SONE

- 5/1(日) ロイヤル・フラッシュジャズ・バンド
 2(月) 新井雅代+トリオ
 3(火) 北莊桂子+トリオ
 4(水) 辛島寿美子+トリオ
 5(木) 渥崎至とブルージン・ジャズ・オーケストラ
 6(金) 大越理加+トリオ
 7(土) 新井雅代+トリオ
 8(日) 鍋島直穂ケルルテット&大越理加
 9(月) 河村恭子+トリオ
 10(火) 谷山和恵+トリオ
 11(水) 大越理加+トリオ
 12(木) 北浪Yoshika+トリオ
 13(金) 北莊桂子+トリオ
 14(土) 新井雅代+トリオ
 15(日) 宮野英子+トリオ
 16(月) かねだたつこ+トリオ
 17(火) キャンディー浅田十トリオ
 18(水) 新井雅代+トリオ
 19(木) 古谷充クワルテット
 20(金) ベティ鞍富十トリオ
 21(土) ジャネット+トリオ
 22(日) 原田紀子&トリオ
 23(月) ボンビ柿本十トリオ
 24(火) 山内尚美+トリオ
 25(水) 岩宮美和ひぎがたり+トリオ
 26(木) 長谷川元伸ケルルテット+新井雅代
 27(金) 新井雅代+トリオ
 28(土) 大越理加+トリオ
 29(日) モダンタイムス・ビッグバンド
 30(月) 浅賀久志+トリオ
 31(火) 溝口恵美子+トリオ

■JAZZ LIVE & RESTAURANT SONE

北野坂 078-221-2055 無休

<http://kobe-sone.com>

★ミュージックチャージ900円

★日曜日昼下がりのジャズライブ開催中

ピアジュリアン

- 5/1(日) 西本淳+鈴木めぐみ(sax)
 3(火) 沼田陽一(fl)星野則雄(ファゴット)
 5(木) 高橋乗子(チェロ)山内尚子(p)
 6(金) 渡邊悦朗(ファゴット)藤溪優子(p)
 7(土) 西本淳(sax)原田紀子(p)

- 8(日) 武村美穂子(fl)藤溪優子(p)
 11(水) 宮崎万里(vn)植田浩徳(p)
 13(金) 里屋幸(vn)鈴木華重子(p)
 15(日) 林典子(p)
 17(火) 三木香奈(ヴィオラ)森玉美穂(p)
 18(水) 並木円(ソプラノ)藤江圭子(p)
 19(木) 西川奈江(vn)植田浩徳(p)
 20(金) 吉岡一郎(sax)大西隆弘(p)
 21(土) 中島悦子(ヴィオラ)田中靖子(p)
 24(火) 老田裕子(ソプラノ)藤江圭子(p)
 27(金) 鈴木華重子(p)
 28(土) 谷風佳孝(鍵盤ハーモニカ)
 29(日) 清水徹太郎(テノール)藤江圭子(p)
 31(火) 本吉優子(vn)田中靖子(p)
- クラシックライブハウス PIA Julien
 三宮駅北側近藤ビル9階
 078-391-8081 月曜定休
<http://pia-julien.com>

Holly's

- 5/5(木) 三浦浦昌彦カルテット
 6(金) 辻佳孝トリオ
 7(土) ゴスペル TheEarthBorn
 12(木) 山本容子(vo)奈良原裕一(b)
 中島幹雄(dr)
 13(金) 加留部洋美&ピアノトリオ
 14(土) 鈴木久美子(sax)大石まいこ(p)
 宗川信(b)
 19(木) ひきばきょうご(vo)他
 20(金) 名倉学(p)&カルテット
 21(土) 河本江間子&ピアノトリオ
 26(木) セッションナイト(楽譜をご持参下さい)
 27(金) Yoshimi(vo)佐伯準一(p)大森重彦(b)
 大森和宏(dr)
 28(土) 畑山紀美代(vo)名倉学(p)
 岡本崇志(b)引田祐次(dr)

■KOBE JAZZCLUB Holly's

- 三宮駅北徒歩7分、新神戸駅南徒歩7分
 加納町 078-251-5147
<http://www.kobe-hollies.com>
 ★5月14日(土)「こうべまつり」花時計線のJAZZ
 ライブはホリーズが担当!
 ★15日(日)ジャズCITYの各店で「春のJAZZウォーク」を開催

チキンジョージ

- 5/1(日) THE HIGH LOWS
 2(月) 永井敏己・米川英之・小森啓資の邁進ツアー
 8(日) Sound Schedule
 12(木) J&B
 14(土) クラムボン
 15(日) ジャバハリネット
 19(木) 近藤房之助
 21(土) チキンDEディスコ? スペシャルDJ/
 Jaxx-da-fish works
 22(日) 奥田民生
 25(水) 是方博Rock Unit ft.杉山清貴
 29(日) ASIAN KUNG-FU GENERATION

 ■THE LIVE HOUSE CHICKEN GEORGE
 生田神社西 078-392-7431
<http://www.chicken-george.co.jp>

萬屋宗兵衛

- 5/4(水) 六甲ロマンチカ・ビッグバンド
 7(土) Flower Bed『うた・た・ね』
 8(日) 山田友和(Tp)瀬川真悟(P)
 張木浩司(B)中田圭祐(Ds)
 11(水) Tommy(Tb) 大野綾子(P)
 12(木) 倉澤修カルテット(JAZZ)
 13(金) 伊沢明子、片岡明子、鶴田麻衣子、
 平田典之、森万里子
 14(土) 西江静香(Vo.) 奥田貴子(Pf.)
 15(日) マルカード・タテヤマユキ
 クオレ・井波陽子 折笠誠(cello)
 安達聰(wb)藤木信希(cho)
 21(土) ジングルーヴ
 22(日) 山本恵理(p)金口雅敏(B)
 タケウチ郁夫(dr) from N.Y.
 27(金) Do-Ja
 28(土) 中村つよし

■ジャズ喫茶 cafe萬屋宗兵衛

元町一番街 078-332-1963

<http://www.sobei.net/>

★ノーチャージのライブはチップ制

日(日)は、7日間にわたりの大エロ・コングレス「インター・ナショナル・チエロ・コングレス・イントン神戸2005」。

世界の鉢々たるチエリストによる、豪華な共演が、神戸国際会議場、ポートピアホールなどを舞台に開催される。



チェリスト1000人による迫力の演奏

JAZZ 2005。パ

ワフルなカルロス菅野と、コンサートに関わるスタッフを講師に、ミュージシャンとして、あるいは

コンサートスタッフとして音楽を楽しむ体験型ワ

ークショップ、そしてコンサート本番がプログラ

ム内容だ。5月8日を皮

切りに「カルロス菅野のリズムアンサンブルワーキショップ」、「バックスティージワークショップ」を9月まで4回開催。

ジャズやラテン好きな中高生、音楽に関わる職業を夢見る中高生はぜひご参加を。参加人数に余裕のある場合のみ一般からも募集。

■ICC事務局 神戸市東灘区岩屋南町2-22 ☎078-805-2001

音楽好き 中高生集まれ!
「神戸 JAZZ 2005」

■運営事務局 神戸JAZZ2005
http://www.xebec.co.jp/
（ジーベック内） ☎078-303-5600



カルロス菅野

オルケスター・デ・ラ・ルスのリーダーとして世界を舞台に活躍するカルロス菅野がつくるラテン・ジャズ・ビッグバンド「熱帯ジャズ楽団」。今年10月に神戸で開催する楽団コンサートを、中高生と一緒に創りあげていこう

という企画「神戸

神戸の本棚

龍鐘譚ほか

伊勢田史郎



詩画工房
定価2500円

虹を見た日から
絵・ひがしただひろ
文・ひがしのぶよ

詩人・伊勢田史郎によるドラマボエム。
カバー装画は、詩人・岩崎風子による墨象《鰐夢》。
『莊子』に「北冥に魚あり、その名を鰐となす。鰐の大なること、その幾千里なるを知らず」とある鰐墨の美しさに魅惑されて本の扉を開ける。

収められている内容は、

「龍の寺」シリーズのシンプルな情景詩、「誰かに呼ばれて」シリーズの森や、みずうみ、村や橋は、どちらも神戸界隈の情景と、今は亡き先輩、友人たちを悼むドラマ詩だ。

そして「羅刹院縁起」シリーズ。「今昔物語集」の出典による、龍神の恋や、鏡賊話、千鳥が滌の水の精、史ドラマ詩で、ギリシヤ叙事詩を思わせる。

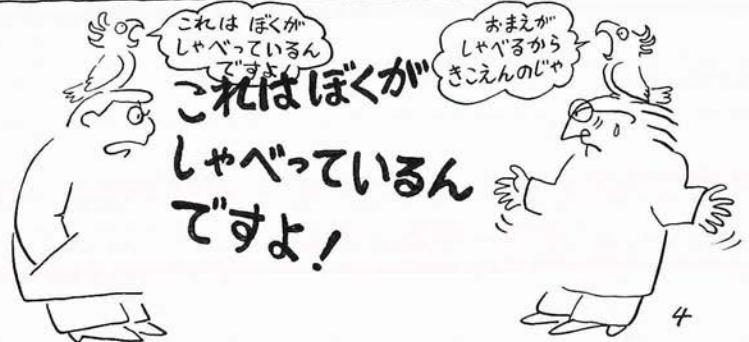
■詩画工房
☎072-734-0434
虹を見た日から
文芸社
本体1400円+税



文芸社
本体1400円+税

■文芸社
☎03-5369-1962





よそ者の力はすごい

大谷 成章(フリーライター)

剪画／とみさわかよの

三日も住めば「神戸つ子」だと、大きな顔ができる。だけど、江戸つ子は、三代続かないと名乗れないらしい。京娘は、都住まい三百年のご先祖がないと、本物の京娘ではない、とうるさく言う人がいる。

にしむら珈琲店のオーナー川瀬喜代子さんが三百年的京娘であつたかどうかは聞き漏らしたが、京都で生まれ、上海で育ち、アジア・太平洋戦争で日本が負けたあと帰国して、神戸に住み始めてことしで六十三年。立派な神戸つ子だ。だが、川瀬さんの「自分にとって一番大切な人をお客さまとしてお迎えするときの気持ちで接しよう」という信念は、神戸の文化というより、京都のもてなしの文化を感じさせる。

吉谷博光社長は、若いころUCCに勤めていて、営業活動で足しげくにしむら珈琲店に通い、川瀬さんの信念に共感し、おまけに（と言わせてもらつて「ごめんなさい」）お嬢さんを獲得した。但馬出身で、地味で、鈍重で、搖るがない。それが、にしむら珈琲店の魅力に厚みを加えていいのではないだろうか。

大震災でにしむら珈琲店も大きな打撃を受けた。私が東京にいる友人たちを呼び集めて「大震災見学会」を開いたとき、かれらは帰り際に「にしむらでコーヒーを飲みたい」と言つた。「こんな惨状の中でにしむら喫茶店はどうなっているかね」と心配していたのだ。

私は「にしむら」の名前が、東京の中年のおっさんたちにも知られていたのにびっくりした。「なんで知ってるん」と問うと、「神戸のコーヒ一は世界一」。それを引っ張つているのがにしむら珈琲店でしょう」と、逆に教えられた。ワシントン、パリ、北京で仕事をしてきたおっさんたちだ。

そのときは、にしむら珈琲店というのは、おそらく三代以上の純粹神戸つ子が生み出したハイカラ文化だから、とうれしく思つたが、吉谷社長にインタビューする機会があつて、オーナーも社長も神戸生まれではないことを知り、半分驚き、半分納得した。

神戸文化は、雑種の文化、ハイブリッドの力なのだと。

いまの三宮から元町あたりにあつた神戸村、

二つ茶屋村、走水村の、明治の開港当時の人口は三千六百人くらいだった。平清盛がまちづくりに力を入れた兵庫の津をあわせても、神戸市の初期は二万三千人程度の町だった。それが百五十万人都市になつたのは、岡山、広島、四国、九州、沖縄など、瀬戸内海沿岸と南西諸島出身の若い人たちを吸収してきたからだ。

神戸つ子とは、純粹性の証ではなく、雑然が持つている混沌のパワーを發揮する集団のことではないだろうか。雑然だから、ハイカラ、洗練、思いやり、協働に、一致して向かおうとしているのではないか。



「にしむら珈琲店」(1995年)

思い浮かべながら考えた。

被災地協働センターの村井雅清さんは北区の住人。阪神高齢者・障害者支援ネットの黒田裕子さんは宝塚の住人だった。被災地障害者センターの大賀重太郎さんは姫路に住んでいる。長田・御藏で活躍している若者たちは東京など関東圏からやつてきていた。(失礼。大阪圏や明石の若者もいる)。

御影公会堂に陣取つてボランティアのネットワークをつくつた神戸元気村の山田和尚さんは埼玉県寄居町から駆けつけた。FMわいわいの日比野純一社長は、ジャーナリストとして東京からボスニアに取材に行く途中、鷹取に途中下車して居ついてしまった。

海外災害援助市民センターの活動(CODE)も軌道に乗つっているが、そこには、顧問で華僑総会名誉会長の林同春さんの熱意に、みんなが応えている姿が見える。

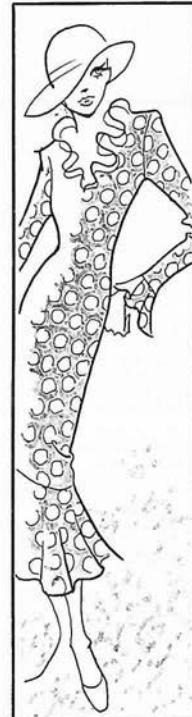
神戸は、よそ者で助けられている。

ハイカラ文化も、都市の発展も、震災復興も。

そんなよそ者が、三日たてば神戸つ子になる。

■大谷 成章 (おおたに・しげあき) 1939年但馬生まれ。元神戸新聞記者。震災当時は月刊『阪神・淡路大震災10年』(共著、岩波新書)など。

「五線紙の街」～神戸を彩った人たち～



文・宮田 達夫
絵・中西 省伍

「しばらくやねえ田宮さん」

鉄板焼き「大西」の親父さんは鉄板の前からはなれずに顔だけ田宮のほうに向けた。両手はたぐみに野菜を炒めている。

「神戸はご無沙汰、外国に行ついていたんで」

「田宮さん、カズ知つているよねえ？」その言い方に何か遠慮がちを感じた。

「知つているよ、この店を教えてくれたんだから」

「彼、死んだんよ」

「え？」田宮は思わず絶句した。

「ガンで血はいて手術しようとしたけど、どうしようもない状態だったんだって、そのまま元に戻してたんよ」

「じゃ DR JAZZ は」

「閉まってるんちがう」

「知らなかつた。あの奥さんどうしたんだろう？ちいちゃな子供がいたけど」

大西の親父さんはそれっきり黙りこんでいた。
実は彼も□には出さないがガンを患つていた。

その昔「イレブン P M」でピアノを弾いていた小曾根実が「m m j y o i n」という店を經營したり、「サントノーレ」でピアノを弾いている鍋島がいたり多士済々であった。ジャズレストラン「サントノーレ」は北野坂の右手のビルにあり、入り口に象の作り物があつて別名“象ビル”と呼ばれ有名だった。店名はパリの ST H o u n o r e から遠藤周作がつけたというが、「サントノーレ」では横書きにしたとき「サントル」に見えるので間に横棒を入れるように提案したのも遠藤だという。オーナーと呼ばれる中谷衣里さんは生バンドでシャンソンを歌い、神戸の夜の社交場として賑わつた。

芦屋の不動産屋の娘と別れたカズは、当然のことをよくフランコードの店を立ち退くことになつた。

この後は神戸で弾かてくれる所であればどこで

もピアノを弾く生活をしていたらしい。その後田

宮は偶然ある人に、カズはにしむら「コーヒー店の前

のビルの三階で「D R JAZZ」という店をして

いるよと教えられた。

中山手に行く所に「ダニーボーイ」というサンフランシスコにあるのと同じ店が人気を集めていた。その対面にドイツパン屋の「フロインドリーブ」と、「にしむら珈琲店」があり、その近くに小さなビルがあり、赤い字で「D R JAZZ」と書かれた看板があった。エレベーターで三階に上がり、ドアが開くとすぐに店の中になるという造りだ。左側にカウンターがあり右に小型のピアノが、そして椅子とテーブルがあると いう店内だ。



「いらっしゃい」

カズはいつもの通りの調子で田宮を迎えた。なんでもここに来たとか何も言わないし、田宮も聞くとしない。何となく長年の一人の暗黙の仲の仕切りみたいなものが、そこには存在していたのかもしれない、あるいは同情かもしれない。

カウンターの中には可愛い顔をした二十代の女性がいた。水割りを注文していると、ピアノを弾いているカズが、「宮ちゃん、彼女、僕の奥さん」とボツリと紹介した。

「田宮さん、いつも世話をなっている」カズがその女性にいうと、女性が軽く会釈をしたが、その動

作はなんとなくぎこちなく幼かった。

その後何回か「D R JAZZ」には行くが、カズの声はいつもかすれていた。カウンターの中の女性は赤ん坊を抱いていた。

女性は二十四歳だった。カズは五十七歳。「子供が可愛くてねえ」カズは田宮が店に行くたびにつぶやいた。確かにカズには過去、子供がいるとは聞いていないし、そのような家庭的なものもなかつたが、今改めて子供をもち、親として人間として実感したのも歳のせいかも知れない。見ていると自分の小さいながらも城を持ち、若い可愛い奥さんと子供をこれから大切にしながら生きていこうといふ気持ちがにじみ出ているように田宮には感じられた。

ピアノを弾くフィーリングは変わらないがカズのかすれた声は変わらず、かつてのようにリクエストするとすぐに弾いた曲もなかなか弾きたがらないのも何となく気になった。店には、以前のような外国人の客はいなかつた。もっとも神戸の景気も悪くなり、外国の総領事館も大阪に移転したりして、外国人の数も激減しはじめていた。

その証拠には、トアロードを上りきったところにある神戸外国语俱楽部（通称外人クラブ）も、経済的に在日の外国人だけではきびしく、海外で商売をしている日本人をメンバーに迎えるよう、方針を変更していた。



■宮田達夫（みやたたつを）フリージャーナリスト。一九三六年生まれ。毎日放送入社、大阪府警・大阪市・万国博などの記者クラブ担当。MBSナウ担当後、報道局兼事業局次長の二足のわらじで、放送記者として宝塚歌舞伎を取材。イベントプロデューサーとしても活躍。元事業局長。バーボンクラブ会員。

子ども画

出石 アカル

絵・菅原洸人

題字・六車明峰



ね。子どもには勝てません」とおっしゃる。この絵を不思議そうに眺めるお客様がある。やがて「これはどなたが?」と聞かれる。わたしは涼しい顔で、「さる画伯が…」と答えることにしている。

よく店を手伝っていたその娘も、昨年結婚して、この夏には私も爺イジである。

さて今回のコーヒーカップの耳。

店の壁面には、菅原洸人画伯の小品が20点ばかり飾つてある。ところが、その中に、子どもが描いた絵を一点紛れ込ませている。娘が七歳の時に描いた消防自動車の水彩画だ。

斜め前方から見た消防自動車は、運転台のあたりがことのほか大きく描いてあって、まるで頭でつかちの怪物だ。よほど印象的だったのか、歯車のようなタイヤが地面を噛んでいる。大きな画用紙いっぱいに描いてあるのだが、後ろのほうははみ出してしまっている。わたしはこのバランスの悪い絵が大好きで、額に入れて飾っている。洸人さんもこの絵を見て「いい絵です

濃部スマイル」よりもまだいい笑顔。
田村良雄さん 81歳。若々しくてとてもそん

なお年には見えない。マンションで奥様との二人暮らし。

この年配の人の思い出話というと、やはり戦

争体験になる。昭和18年12月、今の北朝鮮、平壤に入隊したのだ。

「関釜連絡船で渡つたんですが、わたしのすぐ後の船がアメリカの潜水艦に撃沈された崑崙丸でしたね、わたしは運よく助かっただんです。しかし冬の平壤は寒かったです。洗面台が吹きつきらしの外にあるんですが、それが低いんです。余程かがまないと顔が洗えないんです。何でかなと思つてたら、足元に氷が厚く張つてたんですよ。春になつたら普通の高さになりました。このところ北朝鮮がよく話題になりますが、懐かしいと同時に何とも複雑な思いがします」

さらに軍隊での話。

「いじめがね、そりやひどかつたですよ。まあ、たいがいどんなだつたか聞いておられるでしょうが。同年兵で、耐え切れなくて脱走したのがいましてね。あの寒い朝鮮の山の中に逃げたんですよ。だけど憲兵隊はえらいもんですねえ、どつちの方角に逃げるかよく知つてるものらしいです。だから追つて捕まえるのはたやすいけど、そうなると軍法会議にかけられて、罪がうんと重くなるから、部隊で見つけてこいと言われましてね、わたしたちが探しに行きました。幸い連れ戻して、部隊内の軽い処罰ですみましたけどね」

まだまだ貴重な戦争体験談は続いたが、それはまたの機会に譲るとして、田村さんの若さの秘訣。

「わたし糖尿病の気がありましてね、医師に勧められて、60歳過ぎてからジヨギングを始めたんです。始めは100メートルも走るとフーフー言つてたんですけど、だんだん距離を伸ばして、そのうち10キロ以上走つても大丈夫になりました。80歳になつたらやめようと思つてたんですが、『まだ』に」

60歳過ぎ、と言えば丁度わたしの今の年頃だがとても真似は出来ない。昔の人はつくづく強いと思う。

この日は謡の稽古の帰りだとおつしやる。道理で声も若々しいわけだ。そして帰りがけに話された次の話にこそわたしは感動してしまう。

「家内の体調が良くなくてね、医師から、だいぶ子どもさんに返つて来ておられますね、と言われちゃいました。だけど家の中に居るばかりではなんですから、毎日スーパーに買い物に連れて出るようにしてるんです。腕を抱えて歩くんですが、10メートルほど歩いては休み、また10メートルほど歩いては休みしながら、わたしも子どもに返つてね。嫌がる日もありますけど、寝起きになつちゃうよ、と言つて連れ出します。そう言えば今日は家内の77歳の誕生日でした。これから帰つて風呂に入れてやります」

■出石アカル（いづし・あかる）一九四三年兵庫県生まれ。「風媒花」（編集工房ノア刊）にて、二〇〇二年度第三十一回フルーメール賞文学部門受賞。

金のゆのサムライ

中野 順哉
絵・題字 平田 郁

ロットも満足に巻けない。巻いた先からぼろ

ぼろと落ちてくる。そんな程度だからカットの方も推して知るべし。シャンプーだけは安藤先生のところで得た技術を駆使している……正直に言えば無茶苦茶だった。それでも若者一人の美容室はいつでも客でごった返していた。もはや増岡も僕も朝店をあけて夕方閉めるまで、無駄口をたたいている暇はなくなつた。言葉は悪いがよく儲かつた。店を出すときに増岡の姉さんから借りた百万円も、あつという間に返すこと

が出来た。

なぜそんなに人気が出たのかよく分からぬ。まだ美容室が少なかつたのは事実だ。でもそれだけが理由だったのだろうか。客はみな僕たちに玩ばれた髪を大事に持つて帰つた。それがホンモノだと思つて：いや、ホンモノだとは思つていなかつたかもしれない。そんなこと誰も求めてなんかないみたいだ。だとすれば、僕たちが安藤先生のところで学び、そこに眞実がないと思い、飛び出してつかもうとしていること

：その努力にどれほどの意味があるのだろう。

ふと増岡を見る。客と楽しそうに会話をしながら、いかにも安藤先生をコピーしたというハサミ裁きを見せていく。

「これが……これが成功というのだろうか」僕は危うく声に出そうな独り言を胸のうちにおさめ、いつものシャンプーをはじめた。その時客がタオルにふさがれた顔のまま、につこりと笑つた。「大きな声で言えないけれど。孝さん、随分人気あるみたいね」

「え？」

「みんなそう言つてるわ、私の周りでは。増岡さんより人気があるのよ」

「そうなんですか……ありがとうございます」力の入らない声でそう答えると、苦い思いが胸にこみ上げてきた。こんな話は店にお客が来るようになつて何度も聞かされていた。どうでも良いことだ。こんなことを平氣で言う連中は、増岡にも同じようなことを言ってその反応を楽しんでいるだけだから。一体全体、僕たち

は何を求めてここで不安定なハサミを振り回しているのだろう。

しかしこの苦い思いが、増岡には違つた形で蓄積されていた。ある日、増岡は店を閉めたあと、ふうとため息をもらし、倒れるように店のソファに腰掛けて、そのままの姿勢でタバコを吸い始めた。店のあと片付けを始めた僕に背を向けたまま、彼はぼんやり窓の外をながめて言

つた。

「なあ永海、客にはもつとにこやかにしてないとだめだよ：忙しいのは分かるが、それはお互

い様。仮面はよくないぜ」

「仮面なんか：してる？」
「なんだ：そんなことか…」

「さっきの客がそうこぼしてた。気をつけないと」



「なんだとはなんだ。お前、少し店が繁盛して

るからっていい気になるなよ。俺たちはまだま
だ何にも知らないのと同じなんだ。詐欺とかわ
らんてこと、忘れたわけじゃないだろ。それと
もオーナーとしてはよく儲かつたから、何にも
文句はないっていう腹か？」

「意味なんて…すまん、なんでもない。忘れて
くれ」

その日は増岡とそれ以上何も話さなかつた。

僕も居心地の悪さをありありと表情に出した。
そしてそいつをぶつけるようにさつさと店を片
付けると外に飛び出し、夜の繁華な三宮のネオ
ンの中をぶらぶら歩きはじめた。増岡の言葉は
忘れようにも忘れられず、ただ言葉にならない
憤りのようなものがこみ上げていた。

「どうしてだよ…」

それ以上言葉が見付からない、考えてみても
何だか頭の中がまとまらず、気がつくと映画館
の椅子に腰掛けていた。何の映画だつたらうか。
よく覚えていない。ただスクリーンいっぱいに
写った金髪をハサミで切るシーンだけが印象に
残った。その時だつた。がさがさと音を立てて
乱暴に隣に座る男がいた。男はもう春だという
のにセーターを着てマフラーをしている。一人
でいるのにかばんや上着など、手荷物をいっぺ
い持つっている。手当たり次第に近くの椅子に荷
物を置こうとしているが、かさの割りに荷物が
軽いので椅子が跳ね上がる。それでも何度も置
こうとしてじたばたしている。仕舞には大きな
舌打ちをする始末。

「おい、静かにしろよ」

僕はそう言つて男をにらみつけた。なんてこ
とだ、むしゃくしゃしているからって、こんな
得体の知れない男を睨み付けるなんて…とすぐ
に後悔したが、意外にも男はにこりと笑つて、
「ごめんな。ちょっと荷物が多くて…」と愛嬌
のある返事をする。思わず僕も噴出して、
「仕方がないな、僕がこの椅子を押させておく
から、その荷物をのせて」

「ありがとう」

これがきっかけとなり、映画館を出た後、そ
の男と近所のスタンドバーに行つた。男は全く
気さくであつた。クラシック音楽の演奏家だそ
うだが、芸術家ぶつたきざなところはなく、話
せば話すほど親しみが生まれ、今出会つたばかり
りという気がしない。歳は三十ぐらい。比較的
長身で痩せている。縮れた髪に、ピーナッツの
ような顔。にこにこと笑つている。お酒の力も
あってか、僕は知らず知らずのうちに今日の出
来事を話していた。男はじつくり話をきき、グ
ラスをぐいっと空にすると

「要するにしんどいんやね：なんかよう分から
んうちにお金が入つてきて、忙しなつて：確かに、ホンマモンを求めていかんと人間は堕落す
る。でも現実は違うんや。僕らも演奏をしてる
けど、ホンマのことを探及しても、それだけで
はお客様はついてこないからね」

「なんで？」

「だつてそうやろ。もしこの国にクラシック音
楽の文化がちゃんと根付いていたら、演奏家も
全うな方向で精進するし、創造性も出てくる。

大体ええかげんなことを言うて、ええかげんな演奏をして、それで芸術家ぶつて…音楽家を育てるというよりは、ちょっとヨーロッパでかじつて来たことを盾に「家元」になつてしまてる。それがこの国のクラシック音楽や。確かにゼロ地点からある程度の形にするまでは、その方法も正解かもしだれん。でもこれからはそうはいかん。そんな演奏会、誰も聞きに来なくなる。お

客のほうも耳が肥えるし…。でも演奏家がちゃんととしたことを探求していかんと、お客様の成長も歪んでしまう。自分が楽しいということよりも、由緒ある演奏を良いと信じる…。「じゃあ、君はちゃんとしたことを知っているのかい？」

「なかなか…はははは、そつは簡単にいかんよ。僕だつて勉強中や。でも君の話を聞いていると



同じ問題を抱えているんかな、という気がしただけや。僕はこれからも勉強と試行錯誤とを続けてゆく。それがこの国に馴染んでくれるのかどうかは分からんけど、そこから離れたら墮落する。やつていく意味がなくなるんやと思う」「だつたら僕の場合、どうしたら良いって言うんだよ」

男はじっとカウンターの奥を睨んだましまぶら黙った。そしてそつと目をつむると笑みを浮かべた。

「月並みなことしか言えんけれど：やつぱり本場に行つてみるとことと違うか？日本人の先生についてても、満足いかへんかつたんやろ」「本場か…」

「ファッションの世界は、そこにいるだけでなんか見えてくるのと違うか？なんでそんな髪型が生まれたのか：技術からだけ見てても、歐米の人間の生活が見えてこないとなかなかつかめ



んところがあるんと違うかな？逆にそこで何かつかめたら、今抱える不安も消えると思うで」

「君はそっちの分野の本場に行つたことあるの？」

「ないよ…僕は…行かれへんねん」

「どうして？」

「金がない」

思わず僕は噴き出した。

「あほ、そこで笑うてどうするねん」

そう言いながら男も笑っていた。

「ごめん、ごめん」

「まあ、冗談はそれくらいにして、いつぺん僕らの演奏を聞きに来ないか？近々するねん。」

西宮にある教会の聖堂での演奏や、教会の音楽を教会でする…あたり前の話やけれど、これがなかなか当たり前やない。演奏会はホールで聞くものやと勝手に思うてはる人が多いからな

「いつ？」

男はぐちゃぐちゃつとかばんの中から紙切れを取り出した。演奏会のチラシだった。男はそれを両手でまっすぐに伸ばすと僕に手渡した。

僕はそれを丁寧に折つてポケットにしまいこみ、しばらく話をして男と別れた。

演奏会はそれから二週間ほど後のことだつた。

会場は西宮市にある夙川カトリック教会の聖堂であつた。実はそれまでクラシック音楽の演奏会など言つたこともなかつたし、興味もなかつた。だからプログラムをあけて並んでいる文字を見ても、一体どんな音楽を聴かされるのか見当がつかなかつた。ステージと言うと客席が暗

くなり、華やかなスポットが飛び交う：映画で見たミュージカルのようなものしか知らない僕にとって、その日の舞台はあまりにも質素で單純なものだつた。演奏者が祭壇の前に並び、歌い手や指揮者が静かに入つてくる。淡々と演奏が始められ、ドイツ語の歌声が響く。いかにも手製と言うつたない字幕が丸天井に照りだされ、

そこに昼の光がステンドグラスを通り抜けて、建物全体を優しく照らしている。演奏が終わる度に静かな拍手が小川のように流れれる。突然トランペットが高らかに鳴り響いた。プログラムには「J.S.バッハ／カンタータ第五十番」とあつた。女性の歌手が真ん中に立つている。そして聞きなれないドイツ語で歌つている。字幕を見た。

「歓喜せよ！」

歌手はそう歌つていた。そこにはいかなる季節感もなかつたが、とてもきらびやかで、そして莊厳な何かが横たわつていた。

「歓喜せよ…か」

僕は何度もこの言葉を繰り返した。演奏会が終わつてもそこにじつと座つたまま、幾度も幾度も反芻した。

「そう…やはり店を閉めよう」

仕舞いにはそんなことを呟いていた。

■ 中野順哉（なかのじゅんや）

一九七〇年生まれ。関西学院大学文学部フランクス文学科卒業。日本テレマン協会代表代行。上方講談の作家でもあり、すでに二〇を超える作品が上演されている。





震災復興感謝の集い盛況

3月29日、兵庫県立美術館のロビーにおいて財・兵庫県国際交流協会が、レセプションの進行をお手伝い。淡路人形座の「えびす舞」や、移情閣コーラスの合唱、但馬のソバを紹介するなど大盛況。

御影花びらまつり雅に…子供茶会大好評!

3月27日は好天に恵まれて第4回「御影花びらまつり」が、弓弦羽神社で開かれ、花びらアートや句会、短歌の会、花香に子供茶会が大人気だった。淡路おかげ庵も初出店。夜は社務所2階でバリ・ガムランの踊りが雅びに。



●コウベ スナップ

震災10年 国際寺子屋展'05開催

3月17日・18日、神戸クロスカルチャーランセンター主催「国際寺子屋展」が、阪神淡路大震災10周年・鎮魂から再生へをテーマに、原田の森ギャラリーで開催。民族衣装ファッションショーや、伝統工芸と平和に関する談義など、盛りだくさんのプログラム。





モンマルトルと北野・友好提携、ラインの館で

4月13日、モンマルトル観光協会会長のアンドレ・ルサールさんと観光案内所所長のローラ・モランディさんが来日。北野・山本地区をまもり、そだてる会の浅木隆子会長とラインの館で調印式が。



二宮桜花合唱団 春祭りに初奉納

コーラスの名指揮者張文乃先生が二宮神社の「二宮桜花合唱団」をコーチ。4月5日の春季大祭に20名の女性たちが「宮桜舞歌」と「さくら」を奉納した。

KFSで田中謙司氏講演

神戸ファッションソサエティ(KFS)の例会が3月25日にしむら珈琲北野坂店で開かれ、神戸マイスターの田中謙司さんが講演。



菅原洸人の世界

洋画家・菅原洸さんが4月12日～17日、ダイヤモンドギャラリーで「ヨーロッパの教会と聖書シリーズ」展を開催。



生田森吉金吾師「観桜祭」

満開の桜咲く生田神社本殿において、4月7日の夜「長唄桜絵巻」を若柳吉金吾師が華麗に、気合のこもった若衆舞で観客を魅了した。



南阪神の美3人展

洋画の伊藤弘之と、陶芸の中村泰子、書の石川静恵の3アーティストが、3月10日～22日アートホール神戸で印象的なコラボレーションを。



花くらべ山本敏雄展

4月7日～10日、元町のギャラリエサンサカエで、山本敏雄さんが「わが心の雪月花」と題して小さな花絵展を。



神戸っ子クルーズ～第4弾～

神戸から、独特の文化と歴史に育まれた太平洋の離島を巡る

にっぽん丸

初夏の八丈島と 神津島クルーズ

6月21日(火)～6月24日(金) 神戸4日間

■スケジュール

日程	時間	スケジュール	食事
6/21(火)	神戸 11:00発	出港 船長主催のカクテルパーティー	昼・夜
6/22(水)	八丈島 08:00着 18:00発	自由行動または オプショナルツアー	朝・昼・夜
6/23(木)	神津島 08:00着 18:00発	自由行動	朝・昼・夜
6/24(金)	神戸 14:00着	入港。下船後、解散	朝・昼

●最少催行人員:2名

●「八丈島」「神津島」では通船により上陸予定ですが、天候によっては上陸できない場合もありますのでご了承ください。

●通船による乗下船には30分～80分を要します。

●オプショナルツアーアは別途ご案内します。

■旅行代金(大人お一人様)

客室タイプ(2名使用)	代 金
ステートルームB	124,000円
ステートルームA	138,000円
グループ代金(ステートルームB3名使用)	
グループ3	96,000円

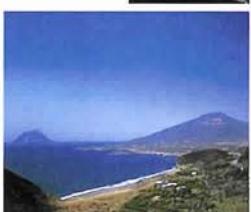
上記正規代金から神戸っ子読者には
特別優待(大人お一人一律1万5千円引)
が適用されます。

エムオーツーリスト

〒530-0005
大阪市北区中之島2-3-33 大阪三井物産ビル
大阪クルーズデスク クルーズマスター 神野博一
TEL:06-4707-3303 FAX:06-4707-3313

Entertainment

歌手
坂本スミコ
ラテンのリズムで
にっぽん丸を
盛り上げます。



大坂トンネルからの眺望／八丈島



水彩 白いゆり(女のいる風景)
31cm×31cm

素描・水彩 石阪春生展

2005年4月26日(火)～5月15日(日)
10:00 A.M.～7:00 P.M.

<ポートピアホテル内>
ポートピア ギャラリー

お問い合わせ Tel.078-303-7373

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10番地1

交通のご案内

- JR・阪急・阪神「三宮駅」よりポートライナーで約10分「市民広場駅」下車すぐ
- 「JR新神戸駅」、「三宮駅」とホテルを結ぶシャトルバス(無料)を運行(20分に1本)